

# 令和6年度日田市立（咸宜小）小学校体力向上プラン 様式1

小：100人以上

## 1. 一校一実践【タイトル名と取組内容の概要】

### 咸宜小チャレンジ

○なわとび・50m走・マラソンを授業時間に継続して実施(咸宜小チャレンジ)，併せて元気アップ週間も行い体力向上を図る。

(1) 1学期：体カテスト・短縄・50m走

(2) 2学期：全校マラソン(マラソン大会に向けた練習)→マラソン大会・大縄・50m走

(3) 3学期：短縄・大縄・50m走

※元気アップ週間～1週間の外遊び奨励期間

## 2. 体力向上推進委員会の組織及び行動計画

(咸宜)小体力向上推進委員会	具体的行動計画
○校長 (樋口秀樹)	4月：体力向上推進会議 (体力向上プランの作成)
○教頭 (矢野治郎)	5月：一校一実践の開始
○主幹教諭 (西胤啓子)	8月：第1回体力向上会議 (体力向上プランの検証・改善)
○体育主任 (佐藤祐稀)	9月：一校一実践の継続
○養護教諭 (高橋聡子)	2月：第2回体力向上会議 (体力向上プランのまとめ)

## 3. 実態(課題)の把握

### ○測定値平均について

	令和5年度結果	令和6年度結果
・男女ともに半数以上の学年で全国平均を上回る種目	長座体前屈・シャトルラン・上体起こし	
・男女ともに半数以上の学年で全国平均を下回る種目	握力・反復横飛び、50メートル走・立ち幅跳び・ソフトボール投げ	

### ○総合評価C以上の児童の割合

		低学年	中学年	高学年
男子	R05結果	52%	54%	50%
	R06目標	53%	55%	51%
	R06結果	%	%	%
女子	R05結果	56%	64%	68%
	R06目標	57%	65%	69%
	R06結果	%	%	%

### ○全国平均値を上回る項目数の割合

	男子	女子
R05調査結果	38%	40%
R06目標値	40%	42%
R06調査結果	%	%

### ○運動が好きと答える児童の割合

	男子	女子
R05調査結果	86%	82%
R06目標値	88%	84%
R06調査結果	%	%

#### 4. 重点目標の設定（重点目標と達成指標）

##### （1）重点目標

- （市統一目標）：総合評価C以上の児童の割合を高める。
- （市統一目標）：全国平均値を上回る項目数の割合を高める。
- （市統一目標）：「運動が好き」な児童の割合を高める。
- （学校独自目標）：晴れた日は外に出て体を動かす子どもの育成。

##### （2）達成指標

- （市統一指標）：総合評価C以上の割合を男子75%、女子79%以上にする
- （市統一指標）：全国平均値を上回る項目数の割合を男子54%、女子62%以上にする
- （市統一指標）：「運動が好き」と答える児童の割合を男子77%、女子57%以上にする
- （学校独自指標）：「咸宜小チャレンジ」において、自分から進んで取り組んだと肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。

#### 5. 重点的取組と取組指標の設定

##### （1）重点的取組

- （市統一取組）：バランスのよい運動能力の育成を図る
- （市統一取組）：運動の楽しさを味わわせる取組の充実を図る
- （市統一取組）：個に応じた目標の設定
- （学校独自取組）：体力向上拡充のための咸宜小チャレンジと元気アップ週間の設定・実施

##### （2）取組指標

- （市統一指標）：体力調査結果に基づき、自校の課題を解決するための効果的な「一校一実践」に取り組む
- （市統一指標）：少数多場を重視した授業実践による工夫・改善に取り組む
- （市統一指標）：児童会主体の体育的活動になるよう内容を工夫する
- （市統一指標）：個人の実態に合った目標を設定する
- （学校独自指標）：体育主任・学級担任・運動委員会が連携して、学期に1回元気アップ週間を実施。また、「咸宜小チャレンジ」の取り組みを推進する。

#### 6. 体育専科教員活用校及び体力向上推進校の実践事例の活用

- 体育専科教員の助言等をもとに授業改善や指導力向上に取り組む。

#### 7. プランの検証と改善

- 年間2回の学力向上会議において、取組状況を分析し、成果と課題をまとめる。
- 児童アンケートや元気アップ月間の振り返りを分析・報告し、課題と改善策を共有する。